**4 標本平均と中心極限定理**

**問題１**

大数の法則の説明は71ページに、中心極限定理の説明は72ページに、不偏分散の説明は73ページに記述してある。

**解答**　④

**問題２**

組み合わせの総数の計算は、標本抽出のパターン数の計算例にとり、70ページに記述してある。

　この問題では、 10C3　を計算することになる。

**解答** ③

**問題３**

標準誤差は、標本の標準偏差：s 、標本サイズ:n とすると　$SE = ^{s}/\_{\sqrt{n}}$である。この問題では、標準偏差15、標本サイズ150であり、$SE = ^{15}/\_{\sqrt{150}}$ となる。

**解答**　③